

デザインは一部変更になる可能性があります

サンプル株式会社

総務部結果

受検期間	受検率	高ストレス者率	STELLA候補者率
2022年 11/1 ~ 11/30	100.0% 全国平均値 90.5%	21.1% 全国平均値 15.0%	0.0% 全国平均値 12.8%

	2022年11月	前回	全社結果
対象者数	19人	18人	336人
受検者数	19人	17人	315人
受検率	100.0%	94.4%	93.8%
高ストレス者数(率)	4人 (21.1%)	2人 (11.8%)	65人 (20.6%)
STELLA候補者数(率)	0人 (0.0%)	3人 (17.6%)	11人 (3.5%)

健康リスク

	仕事面	サポート面	総合健康リスク
貴集団	111	99	109
前年	102	87	88
全国	100	100	100

健康リスクとは

貴社の従業員に疾病休業が起こるリスクを示す厚生労働省が定める指標です。100を基準として、仕事の量的負担・仕事のコントロール・上司からのサポート・同僚からのサポートの4つの尺度から算出されています。

TRUSTY SCORE (職場環境指数)



満足度分析 (優先して改善すべき職場環境項目)

① 同僚からのサポート

同僚が話をしやすく、頼りになり、相談にのってくれるなど同僚同士での支援

② 職場の対人関係

部署内での意見の相違、あるいは部署同士の対立など対人関係に関する負担のこと

③ 仕事のコントロール度

仕事の内容や予定や手順などを自分で決められる程度のこと

④ 仕事の質的負担

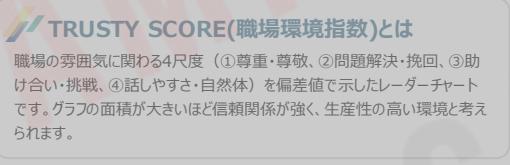
仕事で求められる注意集中の程度、知識、技術の高さなど質的な業務負担のこと

⑤ 技能の活用度

持っている技術、知識、技能、資格などが仕事上活用されていること

満足度分析とは

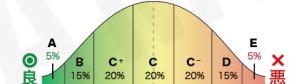
貴社のストレスチェック結果の分析で「未充足」と判断した項目のうち、「従業員の仕事満足度」と相關度が高いものを示しています。これら項目の改善に優先して着手することで、従業員の仕事に対する満足度向上が見込めます。



結果一覧(偏差値)

グラフの見方

- 評価は、良い順からA → B → C → C+ → D → Eの7段階で示しています。
- 各尺度結果について(右図): A:判定となる企業は全受検企業の上位5%。
E判定となる企業は全受検企業の下位5%となります。
- 全国平均*を偏差値50として、今回の結果 ——、前回の結果 ——、全社結果 ——、を示しています。



*2021年ドクタートラスト ストレスチェック 受検者324,642人より算出

仕事について

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
仕事の量的負担	E	27	33							
仕事の質的負担	C	48	48							
身体的負担度	C	49	54							
仕事のコントロール度	C	49	59							
技能の活用度	C	49	57							
職場の対人関係	D	36	60							
職場環境	B	60	57							
仕事の適性度	C+	56	49							
働きがい	C+	57	59							

仕事について

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
情緒的負担	D	41	49							
役割葛藤	C+	55	46							
役割明確さ	C+	56	74							
成長の機会	C	51	61							

職場について

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
経済・地位報酬	C	52	50							
尊重報酬	C-	43	54							
安定報酬	B	61	62							
上司のリーダーシップ	C	48	63							
上司の公正な態度	C+	47	63							

57問版では
判定できません

ストレス反応

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
活気	D	41	56							
イライラ感	C-	42	60							
疲労感	E	24	43							
不安感	E	28	36							
抑うつ感	E	18	46							
身体愁訴	D	40	42							

周囲のサポートについて

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
上司からのサポート	B	66	72							
同僚からのサポート	E	31	50							
家族や友人からのサポート	D	35	52							

満足度

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
仕事の満足度	C-	42	59							
家庭の満足度	C-	44	60							

仕事の状況や成果について

	評価	今回	前回	良	90	70	50	30	10	悪
職場のパラメント	D	35	69							
職場の一体感 (ソーシャル・キャピタル)	C-	45	59							
ワーク・エンゲイジメント	C-	45	63							